


6.3 国連規格容器の性能試験(UN Packaging Performance Tests)

6.2.12 ファイバーボード製箱(Fibreboard Boxes)

6.2.12.1 ●4G の容器に対する規格

6.3.3 落下試験 (Drop Test)

容器	供試物の数	落下方法
ファイバーボード製箱 	5箱 (それぞれの落下試験ごとに1箱)	第1回落下試験: 箱の底面を対面的に落下させる。 第2回落下試験: 箱の上面を対面的に落下させる。 第3回落下試験: 箱の長い方の側面を対面的に落下させる。 第4回落下試験: 箱の短い方の側面を対面的に落下させる。 第5回落下試験: 箱の角を落下させる。

6.3.3.4 落下の高さ(Drop Height)

6.3.3.4.1 固体または液体について、もし試験が輸送される固体または液体を用いて、あるいは基本的に同一の物理的性状を持つ他の物質を用いて行われる場合、

●包装等級 I -1.8m

●包装等級 II -1.2m

●包装等級 III -0.8m

6.3.3.4.2 単一容器および組み合わせ容器の内装容器に入れる液体の代わりに水で試験を行う場合で、輸送内容物の相対比重が1.2を超えない場合、

●包装等級 I -1.8m

●包装等級 II -1.2m

●包装等級 III -0.8m

6.3.6 積み重ね試験(Stacking Test)

6.3.6.1 サンプルの数 (Number of Test Samples)

設計型式および製造業者ごとに3容器とする。

6.3.6.2 試験方法(Test Method)

輸送の間、その容器の上に積み重ねられる可能性のある同一の包装物の合計重量と同等の荷重を試験容器の上面に加える。また、試験容器の内容物が、輸送液体の比重と異なる比重を持つ液体である場合は、輸送液体の比重に従って荷重計算すること。試験容器を含む積み重ねの高さは**最低3mで24時間試験する事**。